

平成28年度 運輸安全マネジメントの取り組み

開星運輸株式会社は、経営トップをはじめ全社員が運送の安全の重要性を深く認識し、安全を最優先とした取り組みを行ってきました。

平成28年度は「輸送の安全に対する基本的な方針」に基づき、より一層安全な輸送を実現すべく全社員が一丸となって取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に対する基本的な方針

- (1) 全社員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、その実現のため経営トップが主導的な役割を果たし、全社員が一丸となって取り組み、絶えず安全性の向上を図る。
- (2) 輸送の安全に関する取組み状況等の情報について、積極的に公表する。
- (3) 安全に対する基本的な方針及びそれに基づく目標・計画を全社員に周知・徹底する。
- (4) 公共の道路を使用して仕事をしているという認識を常に持ち、運転に関する知識・技能の研鑽に努め、人身事故の防止を図る。
- (5) プロドライバーとしての自覚を高め、悪質違反を絶対にさせない。
(酒酔い運転、酒気帯び運転、過労運転、薬物等使用運転、無免許・無資格運転、過積載運行、最高速度違反、救護義務違反)
- (6) 運行管理体制及び車両管理体制の充実強化を図り、法令に定められた運行管理及び車両管理が適切に機能するよう配慮する。
- (7) 現場の声を安全向上方策に継続的に反映させる等、全体の安全性を計画的に向上させる。
- (8) 参加・体験・実践型の研修・指導等の実施により、運転者の能力向上を図る。

2. 輸送の安全に関する目標

- ①人身事故・・・0件
- ②物損事故・・・0件
- ③自損事故・・・0件
- ④追突事故・・・0件
- ⑤居眠り事故・・・0件

3. 輸送の安全に対する投資

- ①ドライブレコーダーの導入・・・23台 予算額805,000円
- ②アルコールチェッカーの導入・・・3台 予算額960,000円
- ③デジタル・タコメーターの導入・・・33台 余談額4,730,000円
- ④乗務職及び指導者・管理者への安全教育の実施・・・年6回
- ⑤乗務職及び指導者・管理者へのKYT研修の実施・・・年6回
- ⑥悪質違反の防止に関わる研修の実施
- ⑦全運転者の「運転記録証明書」を取り寄せて個別に活用・・・年1回

- ⑧運行管理者に「適正診断活用講座」を受講させ、運転者に対する個別指導に活用
- ⑨運転技能向上を目的とした外部研修会への参加・・・年4回
- ⑩東京都トラック協会グリーンエコプロジェクトへの継続参加
- ⑪東京都貨物輸送評価制度取得による、日常的な CO2 削減を目的とした車両整備の実施

4. 事故に関する統計 (自動車事故報告規則第2条に規定する事故)

平成27年度・・・・・・・・0件

平成28年4月1日
開星運輸株式会社
代表取締役 中原 英多郎

平成28年度 実施結果の評価

2. 輸送の安全に関する目標

(1) 交通事故の減少目標

- ①人身事故・・・・・・・・件
- ②物損事故・・・・・・・・件
- ③自損事故・・・・・・・・件
- ④追突事故・・・・・・・・件
- ⑤居眠り事故・・・・・・・・件

(2) 輸送の安全に対する投資

- ①ドライブレコーダーの導入・・・台
- ②アルコールチェッカーの導入・・・台
- ③デジタル・タコメーターの導入・・・台
- ④乗務職及び指導者・管理者への安全教育の実施・・・年回
- ⑤乗務職及び指導者・管理者へのKYT研修の実施・・・年回
- ⑥悪質違反の防止に関わる研修の実施
- ⑦全運転者の「運転記録証明書」を取り寄せて個別に活用・・・年回
- ⑧運行管理者に「適正診断活用講座」を受講させ、運転者に対する個別指導に活用
- ⑨運転技能向上を目的とした外部研修会への参加・・・年回
- ⑩東京都トラック協会グリーンエコプロジェクトへの継続参加
- ⑪東京都貨物輸送評価制度取得による、日常的な CO2 削減を目的とした車両整備の実施

3. 事故に関する統計 (自動車事故報告規則第2条に規定する事故)

平成28年度・・・・・・・・件

平成29年4月1日
開星運輸株式会社
代表取締役 中原 英多郎